

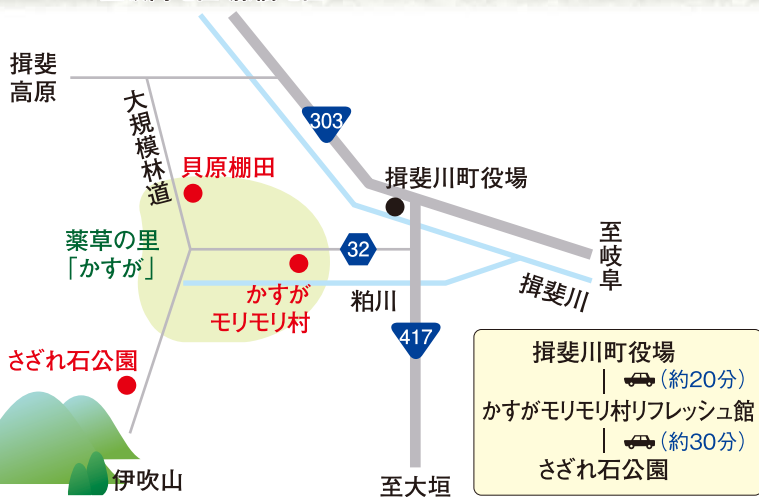
霊峰伊吹山と 薬草の里「かすが」

～「秘境」が育んだ独自文化～



霊峰「伊吹山」

至坂内地区・藤橋地区



揖斐川町への交通アクセス

<自動車でお越しの場合>

名神高速道路

関ヶ原IC 国道21号(約20分)

名神高速道路

大垣IC 国道258号(約15分)

大垣市 国道417号(約30分)

揖斐川町

岐阜市

国道303号(約50分)

<公共交通機関ご利用の場合>

JR東海道本線

JR名古屋駅 (約20分)

JR東海道本線

JR岐阜駅 (約10分)

JR東海道本線

JR大垣駅 (約10分)

養老鉄道

揖斐駅 (約25分)

岐阜羽島駅

JR東海道新幹線

名阪近鉄バス(約30分)

れい ほう い ぶ き やま

霊峰伊吹山と薬草の里「かすが」



～「秘境」が育んだ文化～

日本百名山の一つ、伊吹山は、岐阜県と滋賀県の県境に位置する標高1377mの山で、「日本書紀」において、ヤマトタケルノミコトを打ち負かした神が棲むと伝えられる「霊峰」としても有名です。伊吹山周辺一帯は、深い谷が続き、人が容易に立ち入ることができない「秘境」でした。そのため、その山麓に位置する揖斐川町春日地区には、全国的にも珍しい、独特の文化が残っています。

そのひとつは、「薬草文化」です。伊吹山麓一帯は、古くから「薬草」と呼ばれる草花が多く自生する地域で、それに目を付けた戦国武将織田信長が、伊吹山内の50万㎡という広大な敷地に薬草園を造らせ、そこにポ



薬草園

ルトガルから3000種の薬草を輸入し、移植したと伝えられるほど、「薬草の宝庫」として知られていました。春日地区には、伊吹山の恵みである薬草を利用し、健康長寿を図る生活文化が残っていて、薬草風呂や薬膳料理を手軽に楽しめる施設があったり、薬草教室が開催されたりするなど、今もお薬草と密接につながった暮らしが営まれています。

また、春日地区は、「在来品種」と呼ばれるお茶の産地としても有名です。「在来品種」とは、今から約1200年前に、伝教大師最澄が中国より持ち帰り、日本に定着したとされる品種で、現在主流の「やぶきた」種と比べ、栽培面積は全国で約4%程度しかなく、大変希少なお茶です。在来品種は虫に強く、完全無農薬で栽培が可能であるため、子どもからお年寄りまで安全に飲むことができるお茶として重宝されています。

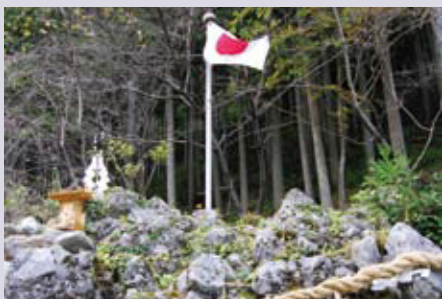
春日地区では、冷涼な気候と朝霧がたち込めやすい特性を利用して、約700年前からお茶の栽培が行われており、急峻な地形ゆえに品種改良が進まなかったこともあって、今なお、在来茶の主要な生産地となっています。標高300m付近に広がる集落とお茶畑の光景は、さながら古代都市「マチュピチュ」のようです。

伊吹山の豊かな恩恵を受け、独自の文化を守り続ける、薬草の里「かすが」。そこに広がる日本の原風景は、訪れる人々の心を休め、癒してくれることでしょう。



晩秋の里山 上ヶ流地区

おもしろスポット紹介



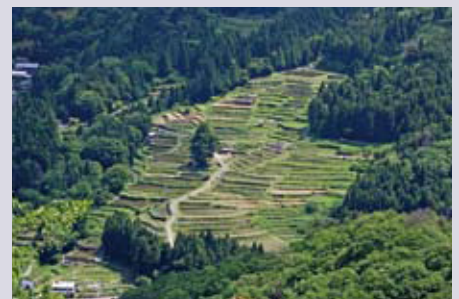
さざれ石公園

「さざれ石」とは、石灰石が長い年月の間に雨水で溶解し、それが小石を結びつけて巨岩となったもの。大変珍しく貴重な石で、国歌「君が代」の由来にもなったパワーストーンです。春日地区は、全国でも数少ないさざれ石の産地で、地区内にある「さざれ石公園」には巨大な石が祀られ、そのスケールに圧倒されます。



かすがモリモリ村リフレッシュ館

伊吹山麓で採れた薬草をふんだんに使った薬草風呂や、薬膳料理を楽しむことができる施設。沢アザミやヨモギ等の薬草を使った特産品、貴重な春日産在来茶をお土産で買えるほか、施設に隣接する薬草園では、栽培される薬草の見学もできます。
営業時間:10:00～21:00(最終受付20:30)
定休日:毎週水曜日(水曜日が祝祭日の場合は翌日)
問合せ先:かすがモリモリ村リフレッシュ館 TEL:0585-58-0001



貝原棚田 (かいばらたなだ)

春日地区美東集落の山腹にある広大な棚田。「ぎふの棚田21選」に選ばれており、その美しい景色は、日本の原風景を思わせます。貝原棚田を利用して、地元のNPO団体による田植えや稲刈りなどの農業体験も開催されており、子どもから大人まで、楽しく農業を学ぶことができます。

お問い合わせ先

揖斐川町役場観光文化戦略課 TEL:0585-22-2111 FAX:0585-22-4496 E-mail:kankoubunka@town.ibigawa.gifu.jp